

# HU-eco 第9号

## 環境報告書2017 ダイジェスト

発行：環境マネジメント委員会  
 作成：環境報告書作成専門委員会 2017年10月  
 [お問い合わせ先]  
 広島大学 財務・総務室 財務・総務部 総務グループ  
 TEL：082-424-4474  
 E-mail：risk-anzen@office.hiroshima-u.ac.jp

### 環境報告書をご存じですか？

環境報告書は、事業者が環境負荷及び配慮等の取組状況について公表するものです。本学では、環境配慮促進法等に基づき、2006年度から毎年作成しています。

詳しくは➡ <https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/kankyo>

本紙「HU-eco」は、環境報告書の一部を紹介しつつ、大学としての環境配慮活動へのご理解とご協力を、構成員のみなさまにお願いするための広報誌です。

### 環境報告書2017版の内容 (2016年度の実績報告)

- 学長ステートメント：本学における環境配慮行動についての考え方
- 広島大学基本理念・環境基本理念・行動方針
- 大学概要
- 環境管理体制
- 2016年度の目標と実績
- ◇本学における環境教育（毎年、その一部を紹介しています）  
 教養教育／先端物質科学研究科／国際協力研究科
- ◇環境研究（毎年、その一部を紹介しています）
- ◇社会貢献・国際貢献・学生活動（毎年、その一部を紹介しています）
- ◇キャンパスの自然環境
- ◇環境負荷削減の取組と実績
- ◇環境リスク低減の取組と実績
- ◇環境に関する規制等の遵守状況
- ◇環境報告ガイドライン（2012）との対照表
- 第三者コメント・環境活動評価委員会コメント
- キャンパスマップ、編集後記



### 2017年度の環境目標

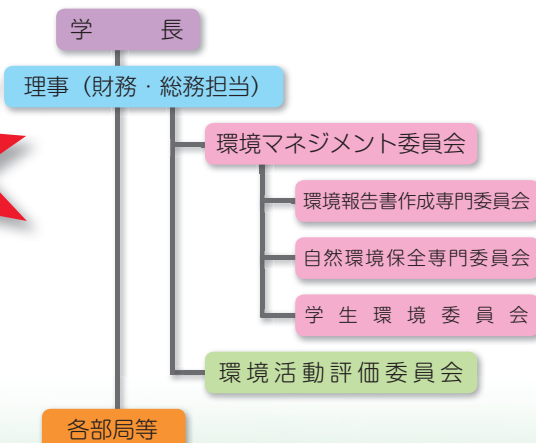
- ◆環境教育・研究の推進
  - \*環境・安全教育の全学実施
  - \*教養教育、専門教育等を通じた環境意識の醸成
  - \*環境研究の連携強化と促進
- ◆社会貢献の推進
  - \*地域社会・市民と連携した環境保全活動の推進
  - \*地域・国際社会の環境問題解決に向けた取組の推進
  - \*学校教育から生涯学習までの地域環境教育への貢献
- ◆自然環境の保全
  - \*キャンパス内の生物相の把握
  - \*キャンパス内の生物多様性を守る生態系管理体制の構築
  - \*キャンパスの自然環境の管理・保全の実施
- ◆資源の有効利用の推進
  - \*エネルギー使用原単位の削減
    - 2015年度比2%削減
    - 2021年度までに2015年度比6%削減
  - \*水使用量の削減と資源化の促進
    - 水使用量の削減（2012年度実績（過去7年間の最低使用量）より減）
    - 水再利用の促進
    - 2016年度実績より減
  - \*廃棄物の削減と資源化の推進
    - 資源化促進による可燃ごみ排出量の削減
    - 2015年度比2%削減
    - 2021年度までに2008年度実績まで削減
  - \*コピー用紙購入量の削減
    - 2016年度実績より減
    - 2014年度実績（過去7年間の最低購入量）より減

**ここがポイント!!**  
 2016年度に  
 未達成の課題



職員・学生のボランティアによる花壇緑化作業

### 本学の環境管理体制



# キャンパスは「まるごと博物館」

## — キャンパスの自然環境の保全と活用 —

※詳しくは、環境報告書の p.21～24参照

### 2016年度の環境目標と実績「自然環境の保全」

環境目標	主な活動実績
キャンパス内の生物相の把握	・ 裏山の生態系をみる授業の実施 ・ 東広島キャンパスの蝶類、両生類等の観察・調査を継続的に実施
キャンパス内の生物多様性を 守る生態系管理体制の構築	・ 自然環境保全専門委員会において、生態系管理体制構築に向けて課題を検討
キャンパスの自然環境の 管理・保全の実施	・ 植物管理室によるキャンパス内の植生管理を実施 ・ 樹木の水やり、剪定、害虫駆除を実施 ・ 学生教職員が一斉清掃活動を実施



フィールドナビによる自然観察会

### 東広島キャンパスの環境管理：ゾーニングと注目ポイント

東広島キャンパスは約250haの広大な敷地の中に、山林、ため池、溪流など多様な環境を含んでおり、そこには多様な動植物が生息しています。

大学に必要な機能・利便性を確保しながら豊かな自然と共生していくため、本学では、「自然区」「半自然区」「管理区」の利用目的と環境特性に応じたゾーニング管理を実施しています。

キャンパス内には、自然を観察するための発見の小径を整備するなど、キャンパス全体をまるごと博物館とするような利用をしています。



### 教養ゼミにおける「発見の小径」

総合博物館では、発見の小径の活用の一環として、新入生が受講する「教養ゼミ」において、発見の小径の利用（解説付）プログラムを技術センターの協力のもと実施しています。

このプログラムは、アンケートによると新入生からの評価も高く、毎年多くのゼミに利用いただいています。本プログラムを通じて、新入生が自然・環境・植物等に関心を持つきっかけとなることを期待しています。



教養ゼミの様子

### トピックス 東広島キャンパスのタンポポ

東広島キャンパス内には、外来種であるセイヨウタンポポ、アカミタンポポの2種と在来種であるカンサイタンポポ（図）、シロバナタンポポの2種が生育しているのに加え、外来種と在来種の交雑による雑種タンポポが生育しています。キャンパス内で普段目にするタンポポのほとんどがこの雑種タンポポですが、注意深く探すと雑種タンポポに紛れながらも在来種のカンサイタンポポを確認することができます。



東広島キャンパスに生育するカンサイタンポポ

# 資源の有効活用を進めよう

※詳しくは、環境報告書の p.25~30参照

## 2016年度の環境目標と実績「資源の有効利用」

	項目	2016年度目標値	2016年度活動実績
可燃ごみ	廃棄物の削減と資源化の推進	資源化促進による可燃ごみ排出量の削減	<b>5.0%増</b> (2008年度比)
		2021年度までに2008年度実績まで削減	
		2015年度比1%削減	<b>2.0%増</b> (2015年度比)
紙	コピー用紙購入量の削減	2014年度実績(過去7年間の最低購入量)より減	<b>0.1%増</b> (2014年度比)
		2015年度実績より減	<b>3.5%減</b> (2015年度比)
エネルギー	エネルギー使用原単位の削減※	2021年度までに6%削減(2015年度・・・基準年)	<b>1.8%増</b> (2015年度比)
		2015年度比1%削減	
水	水使用量の削減	2012年度実績(過去7年間の最低使用量)より減	<b>9.0%減</b> (2012年度比)
		2015年度実績より減	<b>2.1%減</b> (2015年度比)
	資源化の促進	水再利用の促進	<b>16.3%</b> (対上水使用量比)

※エネルギー使用原単位：各エネルギー（電気・ガス・重油）消費量を原油換算し、対象建物の延べ面積で除した値



混ぜればゴミ、分ければ資源

研究室や事務室に分別BOXを設置し、分別し易い環境を作りましょう!!

分別すればリサイクル可能な紙(封筒類、紙袋、包装紙、紙箱など)が、**可燃ごみ**として出されています。可燃ごみを減らし、資源を有効活用するためには、**ごみ分別の徹底**が重要です。これらの紙は**雑誌類に分別し**、資源化しましょう。

### 広島大学で使っているエネルギーは、

- 全学エネルギー消費量(熱量換算) 999,730 GJ/年 (\*1約100,300 MWh/年)
  - ⇒ 構成員\*2 1人1日当たり 120.1 MJ/人/日 (約12 kWh)
  - ⇒ 年間約19億円\*3 一般家庭の1人1日当たりの使用量の約2倍
- 全学 CO<sub>2</sub>排出量 68,281 t-CO<sub>2</sub>/年
  - \*1 省エネ法による電力量換算値
  - \*2 構成員：全学の教職員と学生、生徒、児童、園児の総数(約22,790人)
  - \*3 1kWh19円(一般家庭の平均的な電気料金)で計算した場合

2016年度

### 広島大学で出たごみは、

- 可燃ごみ排出量(全学) 約600 t/年
- 可燃ごみ(2015年度比) 約9.3 t 増
  - ※約3~4割がリサイクル可能なごみです。
- ペットボトル回収量 34,064 kg/年⇒約2,333 本/日



これらはすべて雑誌類にまとめて搬出

皆様のご理解とご協力をお願いします

### ごみの分け方・出し方

まぜればごみ、分ければ資源

平日に各集積場のルールにより出してください

- 紙ごみ** (可燃ごみ)
  - リサイクル(資源)
  - リサイクル可能な紙類(雑誌類、新聞紙、包装紙、封筒類、シュレッダーごみ、段ボール)
  - リサイクルできない紙類(コピー用紙等)
- 可燃ごみ** (燃焼処理)
  - 生ごみ、資源物、ペットボトル、紙類、プラスチック類、ガラス類、金属類、繊維類、その他
- 資源ごみ** (資源物)
  - PETボトル
  - PETボトルキャップ
  - PETボトルキャップ
- 不燃物** (埋立処分)
  - 資源物以外の紙類、プラスチック類、ガラス類、金属類、繊維類、その他
- 上記以外のごみ**
  - 資源物以外の紙類、プラスチック類、ガラス類、金属類、繊維類、その他

### ごみの分け方・出し方

まぜればごみ、分ければ資源

ルールを守って出してください!!

- 可燃ごみ**
  - 生ごみ、資源物、ペットボトル、紙類、プラスチック類、ガラス類、金属類、繊維類、その他
- 資源ごみ**
  - PETボトル
  - PETボトルキャップ
  - PETボトルキャップ
- 不燃ごみ**
  - 資源物以外の紙類、プラスチック類、ガラス類、金属類、繊維類、その他
- 有害ごみ**
  - 資源物以外の紙類、プラスチック類、ガラス類、金属類、繊維類、その他

### 紙ごみの分け方・出し方

機密扱いの紙(燃払い)

雑誌・包装紙・封筒類(燃払い)

新聞紙・チラシ・段ボール(燃払い)

再生紙

# 学生環境委員会・サポーターとして活動しませんか

※詳しくは、環境報告書の p.20参照

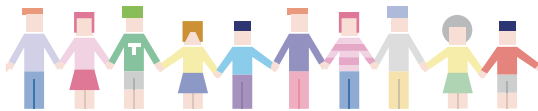
## 学生環境委員会とは

環境マネジメント委員会の下、自然環境保全専門委員会と連携を図りながら活動する学生のみで構成された委員会です。広島大学の環境配慮活動に、学生にも主体的に参画してもらうことを目的として、2014年10月に設置しました。広島大学の「環境目標」(環境教育・社会貢献の推進・自然環境の保全・省エネ推進)を達成するために次の活動を行っています。



**学生環境委員会が実施する環境活動をサポート**

1. 環境目標に沿った活動の年度計画の策定
2. 自然環境保全専門委員会と連携した活動
3. 広島大学における環境活動の普及啓発、情報発信
4. 活動を通じた地域貢献



## 学生環境サポーター

2013年に設立された、広島大学における環境活動の企画運営に参加している**学生ボランティア団体**です。現在、学部生・院生が7名登録し、学生環境委員会で決定された活動について、委員と共に活動を行っています。その他にも、大学生・大学・地域の方などに向けた企画を考えたり、大学構内の生態調査、環境啓発ポスターの作成などを行っています。一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。興味がある方は、下記 HP をご覧ください。

\*もみじ > 学生生活のサポート > 学生環境委員会 > 学生環境サポーター  
<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/life/kankyosupporter.html>



生物生産学部 4年  
高野 智弘

今後も、これまでの活動に囚われず様々な活動を行っていきたいと思います。大学構成員として、参加者として、そして一緒に活動していく学生環境サポーターとして大学の環境活動を盛り上げませんか。

## <学生環境委員会・サポーターの活動紹介>

### — 環境教育 —

2016年の秋、大学祭に出店して、キャンパス内で採れた木の実、木の枝を使った工作教室を開き、身近にある自然に触れてもらいました。また、工作に使用した植物について簡単にまとめたパネルを用意して、キャンパスの自然環境を知ってもらう機会を用意しました。

### — 省エネ推進 —

学生や教職員に省エネを意識してもらうようにエアコンの温度設定についてのポスターを作成しました。



夏季省エネポスター



冬季省エネポスター

### — 社会貢献の推進 —

東広島市が主催する「きれいなまちづくりキャンペーン」に参加して、自分たちが住んでいる町の清掃に取り組み、地域の方達と一緒に活動できるように交流を深めています。

### — 自然環境の保全 —

東広島キャンパスにはビオトープなどがあり自然に溢れています。この豊かな自然を知ってもらい、自然環境の保全やキャンパス内の生態系に興味を持ってもらうために、学生を対象にした「キャンパスツアー」を開催しています。このツアーは毎年開催しており、2016年は春に行いました。



キャンパスツアーの様子